

# 実績報告書

届出者	住所	東京都新宿区西新宿八丁目5番1号 野村不動産西新宿共同ビル	氏名	野村不動産マスターファンド投資法人 執行役員 吉田 修平
特定事業者の主たる業種		65金融商品取引業, 商品先物取引業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主として不動産関連資産の特定資産に投資し、中長期の安定した収益の確保と運用資産の着実な成長を目指して運用を行う。2019年7月末時点において、全国で289棟の資産を取得済みであり、うち大阪府内では8棟の資産を取得している。		

## ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間				
2017 年	4 月	1 日	～	2020 年 3 月 31 日 (3年間)

### (2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2016 )年度	前年度( 2018 )年度
温室効果ガス総排出量	10,706 t-CO <sub>2</sub>	9,614 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	12,161 t-CO <sub>2</sub>	10,784 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

### (3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (2018 年度)	第3年度 (2019 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0 %	5.7 %	19.6 %	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	6.4 %	20.6 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 延床面積 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	
未設定	

## ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

### (1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>基準年度に重点対策事業所(原油換算1500kL以上/年)であった物件において、各種対策による効果と既存テナント利用方法変更による電気使用量の減少により、29年度温室効果ガス削減率(原単位ベース)が改善(原油換算1500kL以下に減少)。その他事業所でもエネルギー使用の最適化・効率化、入居テナントと一体運用対策推進、原単位ベース削減に努め、全般的に温室効果ガス削減。</p>
--

### (2) 推進体制

<p>本投資法人では、昨年度よりエネルギー管理統括者を筆頭に、エネルギー管理企画推進者、各事業所のプロパティ・マネージャーや建物管理会社管理員、入居テナントと一体となって運用対策を推進しており、エネルギー使用量の削減を継続していく。また、LED化や高効率の機器を導入し電気の重要平準化を目指す。</p>
---